

令和六年一月十五日 信者心の道勉強会

神 示

人類は 歴史の眞実を見ぬままに

知識と努力を頼って 現代いまを生きる

ますます「眞理」に気付かず

眞理なき知識を頼って 心惑う

互いの心が重ならず 成果を出せない因が ここにある

信者に申す

「教え」を頼って 日々にちにち生きる信者を目指せよ

自然と心の動きは安定し 知識が生きて 努力も実る

人間は 家族との関わりを通して 人生の指針をつかむ存在もの

なれど 家族との関わりが薄く

自信・信念が持てぬまま 社会に出て行く

—— 社会は 運命・実体が重なり 補い合って 回っている ——

この眞実「眞理」に気付いて 「実体」を高める努力が必要

この努力が 自信・信念を芽吹かせる

この努力は

家族が「眞理」で関わりを深めるほどに 生きてくる

「教え」が「眞理」を示している

ゆえに 「教え」に生きて 実体こころを高める家族みなであれ